

(2) 保護者アンケート

保護者の意見を汲み取るため 9/24 にアンケートを配布し、10/1 の締め切りで収集した。FAX、電子メールの提出も受け入れ、一週間の短い期間でありながら多くの意見を集めるべく努力し、153 通の提出があった。かなり高い回答率と言える。アンケートの文面は以下の通り：

保護者の皆様、

今理事会では年々減り続けている児童生徒数に危機感を感じています。これは SFJLC に限らず世界的な傾向で、特にペイエリアでは日本企業からの駐在員が減っていることも背景にあります。一方補習校の姿が今のニーズに合っていないのではないかとこの心配もあります。そこで皆さんの補習校に求めるもの、改善したい点などについてご意見を伺いたいと思います。ご面倒だとは思いますが、日頃補習校について思っていたことを書いて各家庭一枚ご提出ください。無記名で結構です。このアンケートは様々な要望／意見があることを知るためのもので、特定の改善案に対して賛成／反対の集計をするものではありません。

12 月に理事長へ答申する予定になっており、時間がありません。申し訳ありませんが来週 10 月 1 日を締め切りとさせていただきます。アンケートの結果を踏まえて具体的な提案を用意し、もう一度皆さんのご意見を伺うミーティングを 11 月に持つ予定です。職員室の前に回収用の箱を置いておきます。来週学校へ来られない方は FAX で 206-202-4175、または電子メールで shouraizou@sfjlc-hogoshakai.org でも受け付けます。英語版は <http://www.sfjlc-hogoshakai.org/survey.pdf> です。

(将来像委員長／保護者会代表会長 村山斉)

- (1) お子様の学年
- (2) 今までの在米年数
- (3) 今後の在米予定年数
- (4) 日本語補習校に何を求めていますか
- (5) 今の補習校ですばらしい点、のびて行きたい点は何ですか
- (6) 補習校で改善できる事を具体的に書いてください。今までの補習校の姿にとらわれず、自由に考えてみて下さい。

改善の例：授業時間の短縮・延長、幼稚部の併設、全日制日本人学校の併設、習熟度・目的別クラス編成、できる限り幅広く教科書に沿った授業／教科書を全部網羅せず重点をのびた授業、国語以外の科目の選択化、授業日の変更、community Japanese language school の併設、模試の実施、受験指導の充実、帰国子女受け入れ校の説明会、文化的イベントの充実、宿題の量を増やす・減らす、休んだ授業に追いつくための資料の用意、教師と保護者の懇談の充実

日本語補習校に求めるものは大体予想通り。例は

- 日本語の読み書きを身につける
- 日本の学校を体験できる場
- バイリンガルを維持する場
- 日本文化の理解の場
- 日米文化の違いを学ぶ場
- 日系、日本人の友人と遊ぶ場
- 日本の学校教育に沿ったカリキュラム
- 塾とは違う幅広い教育を身に着ける場
- 同じ目的を持つ友人から触発される場
- 学力の向上
- 日本帰国後の準備（帰国後スムーズに日本の学校に適應できるように）
- 算数と国語力
- 家庭の事情で余儀なく海外生活を強いられた子供達の、不安な心の拠り所。そして帰国後安心して日本の学校に戻れる確かな足掛り
- 日本人としての生活習慣、常識を身に着ける場
- 先生（目上の人）との交流
- 中・高・大受験への対応（国数）
- 現地校と異なった集団生活、団体生活のルール
- 国際社会に通用する人間形成

補習校のよいところ、のばして行きたいところは

- 国際的な雰囲気
- 朝礼
- 先生方の丁寧な授業、テストや宿題への細かいコメント
- 人間的にも尊敬できる先生方
- 活発な保護者会活動
- 図書室、および 図書ボランティアが充実している
- Open な保護者の雰囲気
- 少人数クラス
- お話会（昼休みの読み聞かせ）
- 漢字テスト、音読、作文が毎週実施されている点。
- 先生方がすばらしい。一人一人の子供達の学習に心を配っている。
- 4教科のアカデミックな学習、先生、保護者会。
- 週一日でありながら、日本の学校で夏休みに体験学習をしても授業は問題なくこなせた。
- 安全面の確保。組織が確立されている。
- 保護者の皆様がボランティアなどで活躍され、最大限にサポートしようとしているところ。
- お友達同志とても仲良くできる環境はすばらしい。
- 学校行事（運動会、フードバザー、古本市など）

- 教科書を使った授業（同じ学年内でカリキュラムの差が少ない）
- 日本の学校ならでの習慣（例 日直、当番、校歌、授業前の相談）
- プリント、宿題の質が高い
- 児童、生徒、保護者、先生のやる気
- 「いじめの低学年化」が目立たない
- 授業前後のあいさつ（日本らしい習慣）
- 日本文化、行事の体験
- 親同士の交流
- 生活の中で日本語習得ができる
- 先生が児童の置かれる立場を理解している（異国での日本語学習について）
- カリキュラムのバランスが良い

改善すべき点で多く挙げられていたのは

- 習熟度別、目的別クラス
- 算数、理科、社会の選択制
- 幼稚部の併設

その他には

受験対策

- 受験を意識した問題を宿題に出してほしい。
- 帰国児童生徒受け入れ校説明会、情報がほしい。受験、編入、地域別の案内など
- 帰国に際しての模試の実施（関東方面以外はアメリカでは受けられない為）

カリキュラム

- 放課後に 華道、茶道、書道、そろばんなどのクラブ活動があると良い。
- 図工、音楽、スポーツ、書道、そろばんの授業の導入
- 夏休みの宿題量の見直し。宿題が多すぎる。
- 夏期集中学習の見直し（取りやめ、延長）
- 宿題を減らす、増やす
- 日本語を使う子供の環境として、休み時間（子供が自由に話す場）が少なすぎる。昼休み時間の短縮が残念、元に戻して欲しい
- スポーツの授業を増やす。
- 各学年でスピーチ大会など皆の前で日本語をスピーチさせる機会を与えてほしい。
- 小中合併による年齢、学年にこだわらない授業
- 今のような受身的な授業だけでなく もっと自分で調べ、まとめ発表できるように指導
- 低学年は全クラス アシスタント制にする、半チュータリング制、 授業サポートの為に保護者ボランティアを入れる

- テストに時間を掛けすぎず。テスト、成績表をなくしその時間を習熟度、目的別などに有効利用する。
- 漢字検定実施
- 教科書をこなすだけでなく 日本の文化を教える時間を月に一度設ける
- 世界的にも有名はシリコンバレーにあることを利用し社会見学や講演会など机上の学習以外も取り入れる。
- 折り紙、歌などの楽しい授業を高学年にも
- 作文力、計算力の充実

施設

- 借用校でなく専用校舎の確保による制約の少ない自由な活動、曜日も変更できる
- 小学生には小学生サイズの机、椅子を 中高生にも身体にあった机を使えるよう借用校を変更する

サポート体制

- 教師と保護者の連絡を密にとる 授業態度、宿題提出を詳しく報告
- 欠席、遅刻に対してもっときびしくする
- 休んだ時の遅れを取り戻す為の資料をサイトに載せる（各家庭の責任でフォローアップする）
- 教師から家庭指導へのアドバイス強化
- 参観日を学年ごとに別の日にする。（親が移動して児童が集中できない。駐車場がない）

体制

- SAT、AP テストの日本語テストの準備、情報提供
- 高等部での取得単位を現地校の単位に適用
- Community language School を併設し長期組の子供達に通えるようにする
- 保護者間の情報交換の会をつくる
「永住の会」「日本の出身地域、帰国地域別の会」など
- 1、2年生の下校を3時半にする。授業が無理なら、いくつかの教室を開放してもらい、待ち時間に宿題をしたり本を読んだりさせてほしい。
- 低学年終了後のベビーシッター制度、アフタースクールの併設（宿題をするなどの自習室を設ける）
- 日本からの教育者の派遣をふやす。
- クラス替えは2年ごとにする
- 日本の学校との交流
- 高等部進学基準廃止、希望者全員入学。小学生も同じ
- SF校、SJ校の選択を自由にできるようにする。
- 放課後クラブを作り学年枠をこえたふれあいの場を作る。高学年が低学年を教える機会にもなる
- 先生の評価制度
- 現地採用の先生の声にもっと耳を傾ける
- 日本からの派遣教師の増員

- 欠席日の授業資料準備の徹底
- 1日の授業時間の増加
- 宿泊研修
- 図書管理専任職員の配置
- 義務教育9年間分を高等部までの11年間で到達
- 習字、学芸会
- 社会科の充実
- 高等部での単位が大学入学に利点となるよう
- 保護者の授業ボランティア（子供の習熟お手伝い）
- 休み時間の延長(友達が増える)
- インターネットでも授業
- 日本語学習ソフトの紹介
- クラレンドン・エレメンタリー校を通常授業に借用
- 遅刻、早退、欠席のリメイク制（休んでも他で単位が取れる）
- 全日制日本人学校設置